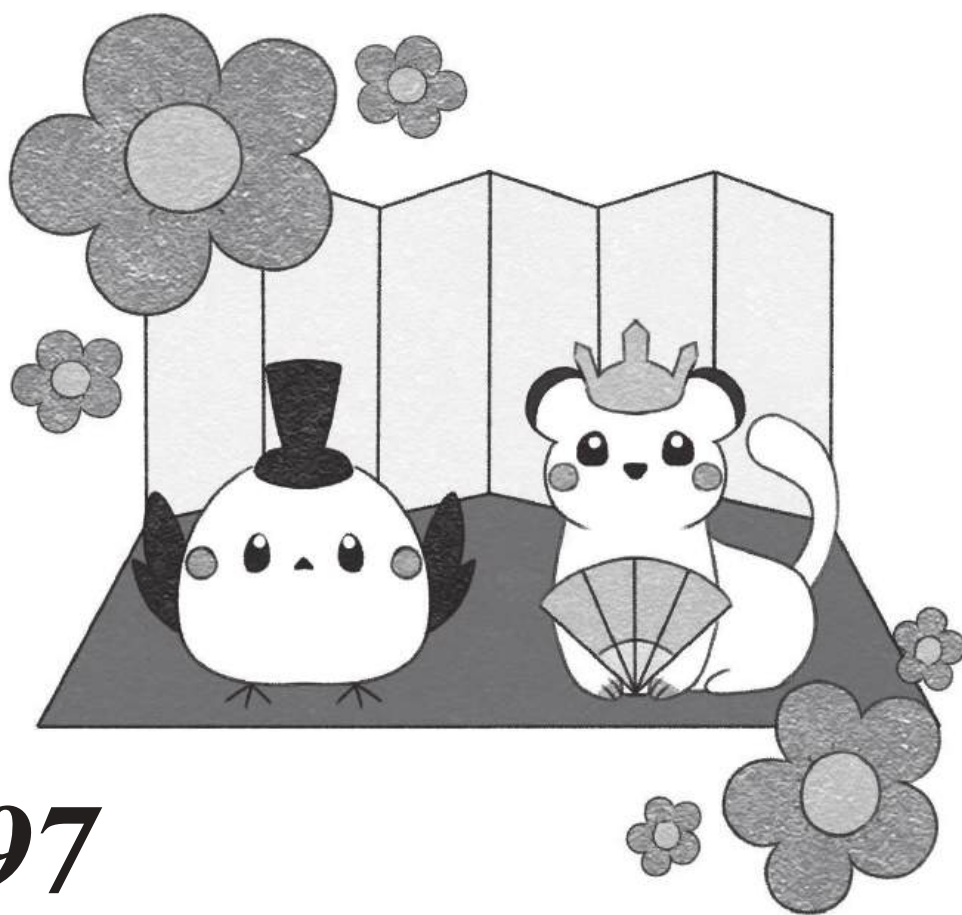


# とびとび



No. 97

題 字: 村井 龍全さん (水墨画家)

イラスト: 武上 結衣さん

昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認

HSK 通信番号 649 号 (毎月 10 日発行)

発 行 2026 年 (令和 8 年) 4 月 10 日

編集人 札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74-402

NPO 法人「飛んでけ!車いすの会」

照井 レナ 発行番号第 97 号

電 話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定 価 100 円 (会員は会費に含む)

## 目 次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-5 タイとカンボジアに飛んだ車いす
- P6-7 車いす届けました! 届きました!
- P8-9 ボランティア紹介
- P10 トピックス
- P11 てるてる坊主のつばやき
- P12 掲示板 (イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

寄付者：5名

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：11名

ご寄付ありがとうございます

● 個人・団体寄付金

寄付者：25名

● その他

寄付者：3名

札幌市  
さぼーとほっと  
基金

飛んでけ！車いすの会を指定して  
寄附すると税額控除が受けられます。

★ 個人の場合：所得税と個人住民税

★ 法人の場合：法人税

#### 控除額の算出方法

$(\text{控除対象寄附金の合計額}^* - 2,000\text{円}) \times 10\%$

例) 5万円寄附した場合：4,800円の税額控除が受けられます。(※上限は総所得金額等の30%)

詳しくは記載のQRコードより  
さぼーとほっと基金ホームページ  
をご覧ください。



(順不同、2025年10月16日～2026年2月15日)

Wheelchairs delivered to 84 countries

| ◆アフリカ・欧州地区   |     | ◆アジア・太平洋地区  |     |             |    |
|--------------|-----|-------------|-----|-------------|----|
| ① ベラルーシ      | 11  | ① アフガニスタン   | 20  | ②⑨ シリア      | 4  |
| ② ベナン        | 17  | ② バングラデシュ   | 46  | ③⑩ フィジー     | 9  |
| ③ ブルキナファソ    | 24  | ③ ブータン      | 1   | ④⑪ ミクロネシア   | 12 |
| ④ エジプト       | 2   | ④ カンボジア     | 250 | ⑤⑫ バヌアツ     | 6  |
| ⑤ ガーナ        | 17  | ⑤ 中国        | 67  | ⑥⑬ 東ティモール   | 3  |
| ⑥ ケニア        | 27  | ⑥ インド       | 25  | ⑦⑭ ソロモン諸島   | 10 |
| ⑦ レバノン       | 1   | ⑦ インドネシア    | 131 | ⑧⑮ サモア      | 4  |
| ⑧ マラウイ       | 24  | ⑧ イラク       | 5   | ⑨⑯ 台湾       | 10 |
| ⑨ モーリタニア     | 2   | ⑨ ヨルダン      | 6   | ⑩⑰ パラオ      | 5  |
| ⑩ モロッコ       | 11  | ⑩ 韓国        | 40  | ⑪⑱ トルクメニスタン | 1  |
| ⑪ モザンビーク     | 1   | ⑪ キルギス      | 11  | ◆南米・中米・北米地区 |    |
| ⑫ ナミビア       | 1   | ⑫ ラオス       | 32  | ① アルゼンチン    | 16 |
| ⑬ ルーマニア      | 8   | ⑬ マレーシア     | 116 | ② ボリビア      | 4  |
| ⑭ セネガル       | 1   | ⑭ モンゴル      | 33  | ③ ブラジル      | 16 |
| ⑮ 南アフリカ      | 6   | ⑮ ミャンマー     | 53  | ④ キューバ      | 24 |
| ⑯ タンザニア      | 16  | ⑯ ネパール      | 145 | ⑤ ドミニカ      | 5  |
| ⑰ チュニジア      | 6   | ⑰ パキスタン     | 50  | ⑥ エルサルバドル   | 57 |
| ⑱ ウガンダ       | 3   | ⑱ パプアニューギニア | 31  | ⑦ ホンジュラス    | 12 |
| ⑲ ザンビア       | 25  | ⑲ フィリピン     | 250 | ⑧ ジャマイカ     | 9  |
| ⑳ ジンバブエ      | 3   | ⑳ ロシア       | 10  | ⑨ ニカラグア     | 31 |
| ㉑ ナイジェリア     | 21  | ㉑ サイパン      | 2   | ⑩ ペルー       | 14 |
| ㉒ エチオピア      | 5   | ㉒ シンガポール    | 25  | ⑪ セントルシア    | 1  |
| ㉓ ルワンダ       | 4   | ㉓ スリランカ     | 80  | ⑫ ウルグアイ     | 14 |
| ㉔ カメルーン      | 5   | ㉔ タジキスタン    | 3   | ⑬ パラグアイ     | 8  |
| ㉕ ガボン        | 6   | ㉕ タイ        | 480 | ⑭ コスタリカ     | 8  |
| ㉖ マダガスカル     | 10  | ㉖ トルコ       | 3   | ⑮ チリ        | 4  |
| ㉗ ウクライナ      | 100 | ㉗ ウズベキスタン   | 46  | ⑯ カナダ       | 2  |
| ◆日本(国内リサイクル) | 201 | ㉘ ベトナム      | 664 | ⑰ メキシコ      | 2  |
|              |     |             |     | ⑱ エクアドル     | 32 |

2026年2月15日現在  
 (網掛け部分は2025年10月16日以降の増加分)  
 ※2020年8月から集計頻度が変更になりました。  
 これに伴いホームページの台数情報と若干異なる  
 場合がございます。

# タイとカンボジアに飛んだ車いす

## タイ

8月24日、タイに2台、カンボジアに2台の車いすを持って旅立ちました。

タイへの届け先はウドンタニー（場所はラオスの国境に近いところ）の障がい者施設です。障がいを抱えた方々は竹で編んだ籠などを作り、売り上げを生活費の一部にされているそうです。

午後から車いすをお届けするとお知らせしていましたが、朝7時から施設で待っていただきました。車いすをお渡しすると喜びが全身から溢れていて、笑顔でお話ししてくださっていました。その様子を見ている私たちもずっと笑顔になりました。みんなが幸せな時間でした。

動かしているところを見てほしいと申し出があり、早速上手に運転して見せていただきました。皆さんからは大きな拍手でした。

「車いすをいただいたので農業の仕事を頑張ります。」と男性のお言葉。「車いすに乗って宝くじ売りの仕事に行けるようになって嬉しいです。スポーツも卓球ができるので、2年後の大会に向けて練習を頑張ります。」と女性のお言葉でした。お二人には車いすを使って、充実した生活を過ごしていただきたいですね。



## カンボジア

カンボジアはプノンペンから車で3時間以上かかるカンポット州の田舎にお届けしました。途中の道々にいろいろな果物が販売されており、美味しそうでした。見るだけでは我慢が出来ず、カンボジアのボランティアの方がおすすめのドリアンを購入。甘くてとてもおいしかったです。におい？気になりませんでした。

お届けしたのは24歳の女性。ずっと寝たきりだった方で側弯が強く、持って行った車いすでは体が傾いてしまい、書類を見ただけでは細かなところがわかり難く、今回のように実際にお会いして、車いすに乗っていただくと気づくことがあると改めて実感いたしました。16歳の青年はブレーキがなく椅子の部分は木



を打ち付けただけの車いすに乗っていて、田んぼに落ちて骨折してからは怖くて出かけていないと話されていました。これからは買い物に行けると大喜び！いただいた車いすを操作して見せてくれました。

「車いすをいただけて、感謝しております。ずっと寝たきりだったのが、これからは起き上がって出かけられるので、とても嬉しいです。」と母親の感謝のお言葉でした。「車いすをいただいたので、大好きな買い物に行けるのが嬉しいです。」とは男性の喜びの声でした。

ご家族の皆さんからも「車いすを提供して下さった方々、丁寧に車いすを整備して下さった方々、車いすを自宅までお届け下さった方々。皆さま、ありがとうございました。」と丁寧な感謝のお言葉とお気持ちをいただきました。



### その後 について ご報告

カンボジアの女性の車いすが気になっていましたが、2月22日にぴったりの車いすが届けられました。皆様のご協力に感謝いたします。

どうか今後もより一層のご協力をよろしくお願いいたします。



# 車いす届けました！届きました！

## ベトナム

「社会福祉法人えぼっく（本部北広島市）」さんは 2025 年えぼっく海外研修の一環としてベトナム（フエ、ダナン）の障がい者の方々に車いすをお届けくださいました。帰国後、お届けくださったときの感想をお寄せくださいましたので、皆様にもぜひ『車いすお届け者の思い』の共有をと考え会報に掲載させていただきました。

研修参加者：尾暮美幸さん、加藤真姫さん、原隆志さん、中村勇斗さん

### お届け先

#### 1. 対象者 チャン・ゴック・カイン・アンさん

女性 2016 年生・フエ市・脳性まひ

女の子ははじめは車いすに乗ることに戸惑いの表情を見せていましたが、実際に車いすに乗って室内を移動してみると笑顔になり、声を出して喜んでいました。家の中の作りは小さく、小回りのきく車いすを大変喜ばれていました。

ご本人が車いすに乗られている間、ご家族の方がとても喜ばれており、ご近所の方々が様子を見に来られていたのが印象的でした。車いすをお届けすることは、ご本人だけではなく周囲の方々の喜びや嬉しさにも繋がるものだと実感しました。



#### 2. 対象者 ホアン・ドゥック・クエットさん

男性 2016 年生・フエ市・脳性まひ

男の子は座位がとれず、横になったままの姿勢でほぼ一日中テレビやビデオを観て過ごしていました。車いすに乗っても手元のゲーム機に夢中の様子でしたが、少しずつ座位に慣れて新しい景色を楽しんでもらいたいです。

ご本人が車いすに乗った際のご家族の温かな目や嬉しそうな表情を見て、この活動のすこさを改めて実感できました。道路から家までの道が狭く砂利道であったため、車いすで通るのも大変だろうと感じ、ご自宅やその周辺のバリアフリー状況についても気にしていくべきと考えさせられました。



#### 3. 対象者 ダン・ティ・ヴァンさん

女性 1990 年生・ダナン市・小児麻痺・夫（全盲）と二人暮らし

彼女は両手両足に障がいがありながらも明るく元気で笑顔が素敵な女性でした。全盲のご主人とお互いの目となり足となり、支えあって生活している様子が伺えました。車いすが届く喜びや感謝の気持ちが言葉を交わす前から伝わり、胸が熱くなりました。車いすの使い方を説明しているときは目をキラキラさせ、車いすに座ってみた時は満面の笑顔で周りにいた方々の顔を見られ、本当に待ち望んでいたのだと感じました。

お互いに支えあってご夫婦で暮らす姿にどれほどのご苦労があるのかはわかり知れない現状を感じ取りました。本当に車いすを心待ちにされており、何度も感謝の言葉を繰り返しておられました。車いすを心待ちにされていたことが伝わってきました。ご夫婦で支えあいながら今まで生活されてきたことが伺えました。車いすを得ることにより仕事や生活の幅が広がると思うと自分も嬉しく感じました。

身体が不自由ながらも、ご本人の力で車いすに乗ろうとされる姿やご家族の方と協力されて車いすに乗られている様子が印象的でした。



## フィリピン

こんにちは！マリテス・ラザルテです。42 歳、フィリピンのセブ島に住んでいます。4 歳の頃から骨形成不全症を患っています。同じく骨形成不全症だった兄のデニスは、2023 年 8 月 17 日に亡くなりました。

料理、アート、そして小さな家の整理整頓が好きです。ほとんどの時間は家にいて、裁縫をしたり、近所の生徒のために作品を作ったりしています。それが私の収入源です。日曜日はネリが休みの時は教会に行きます。月曜日は、お金があれば墓地にいるデニスとパパに会いに行きます。友達に誘われたら一緒に過ごしたり、家に遊びに来たりもします。

夢はたくさんあります。高校を卒業したことは、私にとって最大の功績です。障がいを持つ人で、あれだけの成績を残せる人はそう多くありません。今は、借金を全て返済できること、そしてどんな時も私を支えてくれるネリと、そして友達の健康を祈っています。



#### 4. 対象者 グエン・ヴァン・ソンさん

男性 1982 年生・ダナン市・小児麻痺・障がいを抱えた妻と 3 人の子ども

両足に障がいがあり、ボードに乗り手を使って移動していました。お会いした時は緊張からか物静かで優しい感じの方でした。車いすに移乗すると、顔が生き生きとし笑顔が多く見られました。日常生活や仕事での不自由さが少しでも解消され、家族と今までできなかったことや外出を楽しんで思い出をいっぱい作ってほしいと思います。

普段の生活やお仕事などで使用することが出来るのは嬉しく思います。車いすの説明を受けている姿や実際に座ったときの嬉しそうな表情、お別れ時に遠く離れても手を振り続ける姿は忘れられません。



### 活動を通しての感想

- ・障がいに応じた支援が受けられず自宅介護されている方のご苦労を目の当たりにして、国により障がい者への考え方、障がい福祉の在り方が違うことを実感しました。
- ・日本では当たり前のことが外国では当たり前ではないと改めて感じました。車いすがあっても環境が整っておらず、使用するにも困難が数えきれないと思いました。
- ・海外においては車いすが簡単に手に入る環境にないところもあることを目の当たりにし、自分自身が恵まれた環境にあることに感謝しながら、可能な範囲でこのような活動を皆さんに伝えられたらと思いました。車いすを必要としている切実な思いを持った方と接し、車いすをお届けするために関わった方々への感謝の気持ちを大切にしたいと思います。
- ・車いすを整備すること、大切に梱包して運ぶこと、慎重に梱包すること、車いすを必要とされているご本人やご家族、この活動の全てに人の優しさや温かさが詰まっていると感じました。すごく意義のある活動に参加できたことは、福祉の仕事をしている者として、とても大きな経験ができたと思えました。

# ボランティア紹介

## 大変だけど楽しいのは同世代とのやりとりがあるから

整備班 高田 賢一さん



77歳の喜寿になります。生まれは道南ですが、父の転勤で小中学校の時は転々としていました。高校は函館で受験しましたが、大学は千葉の駅前大学なんです。電気工学科。卒後、あるバッテリーメーカーに入社しました。私、能力ないものだから、ずっと定年までいました(笑)。3年技術畑にいて、ちょうどバブルの時からずっと営業畑。工場に戻っても、また営業。営業も楽しい、それほど悪くないねと言っていたら、ある重役さんが「君、北海道出身だから札幌行け」って。それから札幌と横浜の本社を行ったり来たりして札幌で定年を迎えました。第二の職場として、子会社に入ってもう10年以上。一応働いているという意味では、今、現役ですね。

母親が札幌のグループホームに入居したのを契機に、シニアカウンセラーや認知症サポーターの講習に出て、その一環で3、4年前、飛んでけに。頭だけではなく、実際に手や体を動かしてみたいと思っていたら、たまたま新聞の記事を見つけて応募。毎週もできないので、月2回くらいの整備だったら続けられるかなと。大変だけど楽しいのは、ひとつは皆さんが同世代であって、お話ができる、このやりとりが楽しいかな。これからも身体の続く限り、来たいなあ、ありがとうございます、という気持ちでおります。整備は、1回では中々技術習得というか、定着ができないのが現状で、今は同じ時期に「車いすの学校」を卒業した中西さんのサポートということで勉強させていただいています。



## 「人と車椅子を繋ぐ大きなサイクル」の中で

整備班 関 勇一さん

昨年4月に「車いすの学校」に参加致しまして、8月から「整備ボランティア」として活動しております。まだまだ手早い仕事は出来ませんが、毎回楽しく作業をさせて頂いております。また、作業の合間は先輩方の明るく面白い話題で、いつも笑顔が絶えません。

「飛んでけ！車いす」の会を知りましたのは15年程前ですが、ユネスコの活動をされていた知り合いの方から紹介を頂いて、家内が「カンボジアへ車いすを届ける」ツアーに参加した折の事でした。とても意義深い活動であることに感心致しましたが、当時は「運ぶ車いすを整備している人達がいる」というイメージは全く有りませんでした。

しばらくの時を経た後に、「自分も参加できる社会活動を探そう・・・」と考えるに至った時、「車いすの学校」を再発見した次第です。通い始めてから、車いすの種類の高さ、カスタム仕様の高さ、サイズの違いなどで想像を超える物量を扱っている事に驚きました。コーディネーターの方や物流担当のボランティアの方が、スムーズに受け渡しができる様に大変努力されている事も知りました。色々な方々の善意や協力を頂いて、この事業が成り立っている事が分かりました。「人と車椅子を繋ぐ大きなサイクル」の中で、自分はごく一部を担当するだけですが、楽しいと思える間は続けたいと思っております。

## 弱い立場の人々を助けるのは皆の責任

整備班 ユアン・タイユーさん



Okay, my name is Yuan and I'm a third-year high school student currently studying at Hokkaido International School. I am from China near Shanghai. My main interests are photography, dancing, and music. Last June I attended the Wheelchair School and got my basic wheelchair maintenance certificate. Since the beginning of the new school year last August, I have been volunteering here on Saturdays. Why am I volunteering? I wanted to experience service work here in Japan while I'm in high school. The first reason is that it is a good activity to write about in my personal profile for my college applications. Second, I feel like it is everyone's responsibility to help people who are marginalized such as disabled people. What are my future goals? I want to become a lawyer. First of all, I am going to the United States to study

at university. I am applying to universities there now. I have been accepted at my second and third choices, but I am still hoping for one of my first choices. Someday I want to get my license and practice law probably in America. Finally, please come to my school musical titled Cinemania on June 12 at Kitara large hall. I will perform as a dancer. Please support us!

私の名前はユアンです。現在、北海道インターナショナルスクールに通う高校3年生です。中国・上海近郊の出身です。主な趣味は写真、ダンス、音楽です。昨年6月に、車いすの学校に参加し、車いすの基本メンテナンス資格を取得しました。昨年8月の新学年開始以来、毎週土曜日にここでボランティア活動を行っています。

高校生のうちに日本で奉仕活動を経験したいと、飛んでけの活動に参加してみました。大学出願用の自己PRに書ける良い活動であり、障がいなどによって社会において弱い立場にある人々を助けるのは皆の責任だと感じる、という理由もあります。

将来は弁護士になりたいです。まずはアメリカに留学し、大学で学びます。現在、現地の大学に出願中です。第二志望と第三志望には合格しましたが、第一志望の一つにもまだ期待しています。いずれは弁護士資格を取得し、おそらくアメリカで法律実務に携わりたいと考えています。

最後に、6月12日にKitara大ホールで開催される本校ミュージカル『シネマニア』へぜひお越しください。私はダンサーとして出演します。応援よろしくお願ひします！



## ウクライナのタヤさんが思いを語る 新聞記事が掲載



昨年3月、タヤ・バルカロワさんたちがウクライナ民謡を披露してくださったカフェでのコンサートを覚えていますか？このコンサートは、ウクライナへ車いすを届けるための国内移送費にと寄附されたお金の一部を使って、飛んでけが企画したものでした。現在、タヤさんは大学に進学し、声楽を学んでいます。

タヤさんの特集した共同通信の記事が、2月9日リリースされました。記事のタイトルは、「私だけ逃げた」祖母への罪悪感を抱えて日本へウクライナ侵攻から4年、1人の女性の夢守った小さな教室です。

ロシアのウクライナ侵攻から2月24日で4年の月日が流れました。避難の道中や大切な家族のこと、日本の支援者、そして歌に込める思いなど、タヤさん自身があふれる記事でした。記事は、次のQRコードから見るができます。



### とんでけ整備班の新メンバー・ユアンさんも登場！ 北海道インターナショナルスクール「シネマジック」

北海道インターナショナルスクールのコンサート「シネマジック」では、小学2年生から高校3年生まで、総勢120名の生徒たちが出演します。合唱、ダンス、ジャズバンドなどの多彩なステージを通して、年齢を問わず誰でも楽しめるプログラムだそうです。

**と き** 2026年6月12日（金）19:00~21:00（開場 18:30）

**と ころ** 札幌コンサートホール Kitara 大ホール

**チケッ** 大人 1,100円 高校生以下 550円

お問い合わせ：HIS Kitara コンサート事務局

Email [his.kitara.concert@gmail.com](mailto:his.kitara.concert@gmail.com)

詳細は右のQRコードから。



# てるてる坊主のつぶやき

日本では、介護保険のメニューの中に車いすのレンタルがありますし、足がご不自由な方であれば、障害者総合支援法に基づき、「補装具」として身体に合った車いすをつくることができます。ところが、この良くできた日本の制度・仕組みにも狭間はあって、必要だけれども車いすを手にはできない方々もいらっしやいます。

飛んでけでは、車いすレンタルサービスを、会員さま向け（無料）のほかに、3年ほど前から一般の方向け（年間3,000円）に運用を始めています。サービスの認知度が上がったのか、年々希望される方が多くなってきていると感じています。利用者は、骨折などの一時的な障がい状態にある方、入院・入所等により介護保険のレンタルを利用できない方などです。本来であれば、入所・入院の方の車いすは、施設が準備すべきものですが、数が不足している、からだに合わないなどを理由に、レンタルが増えているのだと思います。

先日、レンタル戻りの車いすの集荷に、私が病院に伺いました。それは、娘さんが病院に言われて入院中のお母さんのためにレンタルされた車いすでした。病棟看護師がにべもない様子でよこした（強い表現でごめんなさい）その車いすを見て、私は思わず「うっ」と声を出してしまいました。

あまりに酷い汚れ——！ この汚れた車いすから想像に難くない劣悪であろうケアの様子、患者さんの扱われ方。涙が出ました。一方、ケア職育成をしている私は、人手不足、煩雑な業務などによるケア職の疲弊、より弱い人の方に向かう力動にまで思いをいたしました。



車中、車いすからほのかに匂う栄養剤と思いきバナナの香りを感じつつ、「この車いすを娘さんが見ずに済んだことは幸い？私がこのことを引き受けたのには意味があった」などと、ぐるぐると思いながら帰途についたのでした。



# 「飛んでけ」サポーターのご案内

## ●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

|       |    |          |
|-------|----|----------|
| ■正会員  | 一般 | 5,000円/年 |
|       | 学生 | 1,000円/年 |
| ■賛助会員 | 一般 | 2,000円/年 |
|       | 団体 | 5,000円/年 |

## ●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。



## ●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方はご協力ください。

## ●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・商品券（QUOカード等）を集めています。

## ●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461  
【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

## 掲 示 板

お知らせ

- ▶ 総会&親睦会のご案内（正会員の方には、改めてDMでご案内します。）  
日 時：2026年5月16日（土）15:30～ 市民活動プラザ星園 会議室  
懇親会：17:00～ 会費：5,000円 会場：中国東北飯店（南5条東3-6,）
- ▶ 25周年事業「お助け!車いす」  
札幌市民からいただいた車いすを丁寧に整備清掃し、団体さま向けに主に災害用車いすとして寄贈しております。  
車いすをご希望の団体さまは以下のURLまたはQRコードからお申し込みください。<https://ws.formzu.net/fgen/S672356912/>
- ▶ 車いすの学校 受講生募集中  
毎月第2・第4土曜日 13:30～  
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。
- ▶ ボランティア募集中  
車いす整備ボラ（シニアの方大歓迎）、コーディネーター（英語でメールのやりとりができる方）、会報編集ボラ、事務作業ボラ
- Web版会報  
会の活動を広く知っていただくため会報『とべとべ』をホームページで公開しています。  
表紙画像をクリックするとPDF版がダウンロード可能です。  
<https://tondeke.org/tobetobeforweb>



### 問い合わせ

「飛んでけ!車いす」の会 事務局（担当：照井・小林）  
（事務局は基本的に火曜日と第5を除く土曜日の午後のみ開設）  
電話/FAX 011-215-8824  
メール：info@tondeke.org

HSKとべとべ97号 昭和48年1月13日第三種郵便物承認 発行2026年4月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号649号 定価1000円(会費は会費に含む)  
編集人 NPO法人飛んでけ!車いすの会 照井レナ 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5の74の402 TEL011-215-8824  
発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子